

## Boatlogix スイッチブレード 前方 ソナー トランスデューサー マウント

### 取付方法

Boatlogixのスイッチブレードは、選択されたトローリングモーターブランドおよびモデルのシャフトに特化して設計されています。トローリングモーターのシャフトへの接続は、ボルトで固定するクランプ式のジョイントで、モーターシャフトの形状にしっかりと取り付けられます。選択された振動子は、そのマウントに取り付けられ、目的の角度に調整されます。

**Step 1** マウントをトローリングモーターのシャフトに固定するには、まずマウント本体をシャフトに取り付けます。付属の5/32インチ六角レンチなどの手工具を使用して、付属の10-32 x 1/2インチのネジ4本でキャップスクリューを取り付けてください。ネジはキャップスクリューを通り、マウント本体にねじ込まれます。ねじのねじ山を傷めないよう、組み立てには電動工具の使用は推奨

されません。図1を参照してください。

**Step 2** 4本のネジを、マウントが動かない程度に締めつけつつ、位置調整ができるようにしておきます。トランスデューサーアームがトローリングモーター本体と平行になるように、マウント本体の位置を調整してください。正しく調整されると、トランスデューサーはトローリングモーターが前方を向いているのと同じ方向を向くようになります。図2を参照してください。

図1



図2

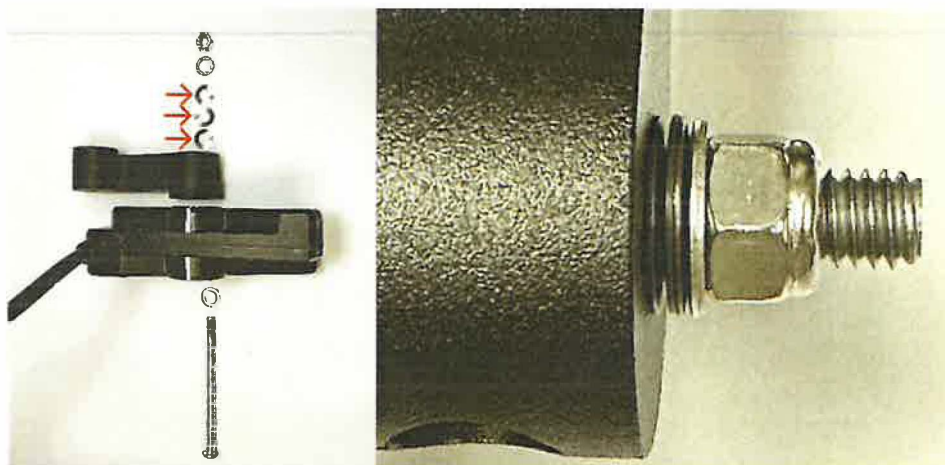


**Step 3** ステップ2で説明したとおりにマウントの位置合わせが完了したら、ステップ1で取り付けした4本のネジをしっかりと締め付けて固定します。トランスデューサーアームが引き続きトローリングモーター本体と平行になっていることを確認してください。手工具（5/32インチ六角レンチ）を使用して、4本のネジを交互に締めながら、確実に固定されるまで締め付けてください。

### Step 4 トランスデューサーの取り付け

Garmin製トランスデューサーについて — LVS34およびLVS62トランスデューサーは、スルーボルト方式で取り付けを行います。取り付けに必要なすべてのハードウェアは付属しています。取り付け時のハードウェアの配置については、図3をご参照ください。

図3

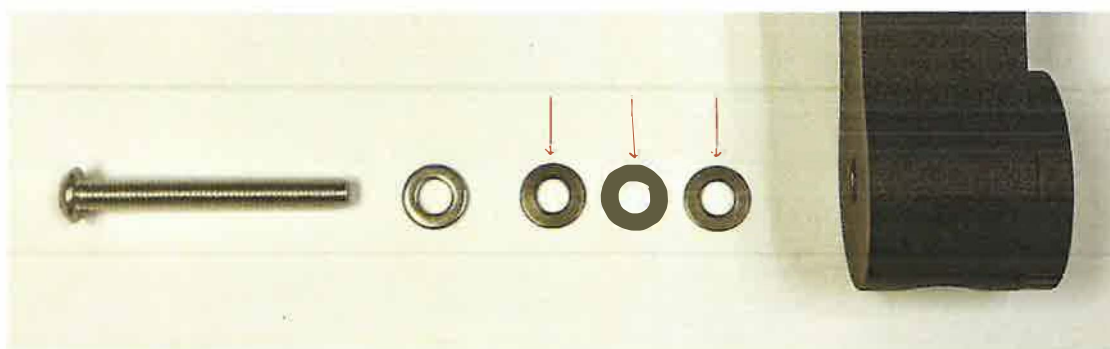


赤い矢印はスプリングワッシャーを示しており、これらは平らではなく、わずかに円錐形をしています。これらのワッシャーは、互いに反対向きになるようにボルトに取り付けてください。2枚目の写真は、すべてのワッシャーを取り付けた状態を示しています。

トランスデューサーを固定するための金具を取り付けた後、ボルトの頭に3/16インチの六角レンチ、ロックナットに1/2インチのレンチを使用してボルトとナットを締めてください。ボルトを締めながら、トランスデューサーを回転させて、1クリック分動かすのにどれくらいの力が必要かを確認します。希望するテンション（または抵抗）が得られるまで、ボルトとナットを締めてください。トランスデューサーを可動式にしたい場合は、ボルトとナットをしっかりと固定してください。

Lowrance製トランスデューサーについてーアクティブターゲット 1およびアクティブターゲット 2のトランスデューサーは、トランスデューサー内のインサートにねじ込まれたネジでマウントに固定されます。取り付け時の金具の配置については図4をご参照ください。赤い矢印はスプリングワッシャーを示しており、これらは平らではなく、わずかに円錐形をしています。これらのワッシャーは、互いに反対向きになるようにボルトに取り付けてください。

図4



トランスデューサーを固定するための金具を取り付けた後、4mmの六角レンチを使用してネジを締めてください。ネジを締めながら、トランスデューサーを回転させて、次のクリック位置へ動かすのにどれくらいの力が必要かを確認します。トランスデューサーが次のセットポイントにクリックする際の、希望するテンション（または抵抗）が得られるまでネジを締めてください。トランスデューサーを可動式にしたい場合は、ボルトとナットをしっかりと締めてトランスデューサーの位置を固定してください。

**Step 5** マウント/トランスデューサーの調整- フォワードモードでは、スイッチブレードはトランスデューサーをベースに固定するアームを任意の角度に回転させることができます。トローリングモーターシャフトのmountベースにトランスデューサーアームを固定しているローレットナットを緩めてください。

トランスデューサーアームを希望の角度に調整し、ローレットナットを手でできるだけしっかりと締めてください。アームの位置が決まったら、トランスデューサーの向きを前方に調整できます。図5および図6をご参照ください。

図5

図6



パースペクティブ/スカウトモードでは、スイッチブレードはトランスデューサーをベースに固定するアームを任意の角度に回転させることができます。トローリングモーターシャフトのmountベースにトランスデューサーアームを固定しているローレットナットを緩めてください。

トランスデューサーアームは、下向き角度を希望の位置に設定できるように4.5度刻みで調整可能です。トランスデューサーアームを調整し、ローレットナットを手でできるだけしっかりと締めてください。図7および図8をご参照ください。

図7

図8

